

2009年度 前期	曜日・校時	木・1	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	フランス語 I ( French I )			
対象年次 1年次	講義形態	演習	教室	
対象学生(クラス等)	T20A~23B	科目分類	外国語科目(フランス語)	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:大橋 絵理 /Eメールアドレス: eohashi@nagasaki-u.ac.jp /研究室:環境科学部棟1階(123-2) /TEL: /オフィスアワー: 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00				
担当教員(オムニバス科目等)				
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 初習の学生を対象にし、文法事項を理解するだけでなく、日常表現を覚えることで、コミュニケーションのきっかけをつくることをねらいとします。さらに学び取った新しい知識を、そのまま実践的な会話に応用できるようにします。</p> <p>授業方法: 教科書に沿って授業を進めます。ディアログ及び文法のポイントと、実際フランスで生活していくうえで起こりうる状況との組合せによって、無理なく段階的にフランス語でコミュニケーションがとれるようにします。また適切な言葉の使い方や、状況にふさわしいフランスでの行動の取り方も学びつつ、教室内でクラスメイトとフランス語で交流できる方法をとります。</p> <p>授業到達目標: フランス語の会話の機能に習熟し、授業で受け身だけでなく、学んだ事をその都度、積極的に反復、実践することにより、フランス語を着実にレベルアップし、フランス語検定試験5級程度の実力をつけることを目標にします。</p> <p>x</p>				
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要) 大学の勉強、自己紹介、日常生活について説明ができるようにします。またテレビや映画や音楽を通してフランスの文化や社会についての知識を増やし、理解を深めることで、生きたフランス語を積極的に身につけます。</p> <p>第1回 フランス語のアルファベ、発音の規則 第2回 挨拶する、綴り字の記号 第3回 主語人称代名詞、tu と vous の使い方、être 動詞の活用 第4回 形容詞の性と数、名前、国籍、職業を言う 第5回 名詞の性と数、avoir 動詞の活用 第6回 否定文、年齢を言う、家族を語る 第7回 定冠詞、-er 動詞の活用身体の特徴を言う、avoir の活用 第8回 疑問文、好きな物を言う 第9回 Civilisation、フランスを知る 第10回 指示形容詞、所有形容詞家族について語る、否定文 第11回 人称代名詞の強勢形、持ち物を言う 第12回 形容詞の女性形と複数形、形容詞の位置 第13回 友達について話す、半母音 第14回 Civilisation、フランスの世界遺産 第15回 全授業の総括(試験含む)</p>				
キーワード	楽しく日常会話ができるようになる			
教科書・教材・参考書	新・東京ーパリ初飛行(駿河台出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)			
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業中の発表や参加状況10%を総合的に判断する			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。			